模擬社会における分配行動（１）

—第５版における分配行動と地域関係—

○山本雅代・福田市朗・清水 洵

(仁愛大学人間学部) (摂南大学経営学部) (甲南女子大学文学部)

キーワード：SIMSOC 分配行動 地域関係

Distributive behavior in Simulated Society (１)

Masayo YAMAMOTO, Ichiro FUKUDA and Jun SHIMIZU

(Jinai Univ, Setsunan Univ, Konan weman's Univ)

Key Words: simsoc distributive behavior regional relations

目 的

様々な社会条件を組み込んだルールのもとで、参加者が自由に意思決定し、問題を解決しながら社会を作り上げていく模擬社会ゲーム (SIMSOC) は、大学生たちに社会の仕組みを学ばせるための代表的なシミュレーションゲームである。このゲームで、参加者たちは日常生活ではあまり経験することのない地域間、個人間の葛藤、対立、相互信頼などに直面するが、それらの場面で彼らが実際にどう行動しているのが現実場面との関係に配慮しながら検討されてきた。そこで、ここでは、特に、「分配」という視点から参加者たちの社会に対する意識や社会行動の検討を行う。

われわれは2011年に5セッションにわたる模擬社会ゲームを2度実施した。今回紹介するのは1回目のゲームであり、セッションごとに参加者全員に一定の資金を与え、彼らが社会を形成する4つの地域（全員がいずれかの地域の住民である）にその資金をどのように分配するかを調べた。第一回目のゲームでは、第3セッションと第4セッションに事件を導入した。事件とは、社会全体に影響を与えるような出来事のことである。また、残りのセッションでも参加者たちは同じように与えられた資金を4地域に分配するように要請された。なお、今回報告する模擬社会は10年前と同じシナリオで走らせたゲームであることから、当時の結果との比較も試みたい。

方 法

参加者：J大46名。2年生を対象として実施。

日 時：2011.11.5 土曜日を利用し終日ゲームを実施した。1セッション約50分、休憩約10分とし、5セッション行った。

手続き：ゲーム実施2週間前に参加者全員に対し参加者マニュアルを配布しゲームに対する詳細な説明を行った。SIMSOCには格差のある4つの地域（緑・黄・青・赤）と各地域に基本集団と呼ばれる集団が存在する。緑>黄>青>赤の順番で貧富の差が存在する。事前に参加者は自分がやりたいと思う基本集団を第3希望まで選ぶことができた。希望する基本集団に配慮しながら参加者を各地域にランダムに配置した。各自の地域や基本集団の配置はゲーム当日に告知した。

分 配：分配についての調査は、「あなたはこのゲームで用いられる12シムのお金を4つの地域に分配する権利が与えられています。どのように分配するか、相談せず自分の意志で決めてください。分配された金額を地域ごとに集計し、それに常数を掛けた金額を各地域に分配します。」と教示し、分配する地域名が書かれた記入表にSIMSOCで流通する通貨単位であるシムで分配金額を記入してもらい、その場で回収した。調査は、ゲーム開始前と各セッションの合間に実施し、合計5回調査した。

事 件：問題が発生した場合、どのように問題解決するのか、また分配行動をどのように行うのか検討するため、セッション3とセッション4において事件を導入し、各自で問題解決

してもらった。セッション3では事件1として「伝染病の発生」を導入した。赤と青地域において新型ウイルスによるインフルエンザを発生させ、地域住民並びにその地域に滞在中の旅行者に感染させることとした。感染者または感染予防のため、その人数分のワクチンを購入することによって健康は回復し、インフルエンザの終焉とした。

セッション4では、事件2として「シム湖の汚染」を導入した。ここでは全地域が面し、生活用水・工業用水として使用してきたシム湖の水質汚染が発覚。放置しておくと水質劣化による健康被害を招くことが指摘され、考えられる3つの解決策の中から早急に1つを選択することが求められた。またそれぞれの解決策には解決するための支出額が提示された。解決策に提示された金額は1地域では準備できない金額を設定した。

結 果・考 察

事件1の「伝染病の発生」では、黄地域が赤地域と赤をたまたま訪問して人達のワクチン購入にかかる全額をねん出し、青は自地域からねん出し終息した。事件2の「シム湖の汚染」では、全地域の代表者が集まり解決金をどのようにねん出するか検討された。その結果、黄>緑>青の順に高額な解決金を支払う結果となった。

セッション毎の各地域への分配金額についてFig1に示す。分配はゲーム開始前、セッション1・2にかけて自地域への分配がされた。一方で、事件が投入されて以降の分配は様子が異なり、裕福な緑と貧しい赤地域においてお互いへの分配行動が多くみられた。特に赤地域では本来1番貧しい地域であるため一貫して自地域への分配が多くなると思われるが、セッション3では自地域ではなく裕福な緑への分配が多かった。全体社会を救うためのお金を捻出したのは黄地域であったがお金ではなく、信頼関係が確立している地域に対しての分配が優先されたと考えられる。

Fig1.各セッションにおける地域別分配数